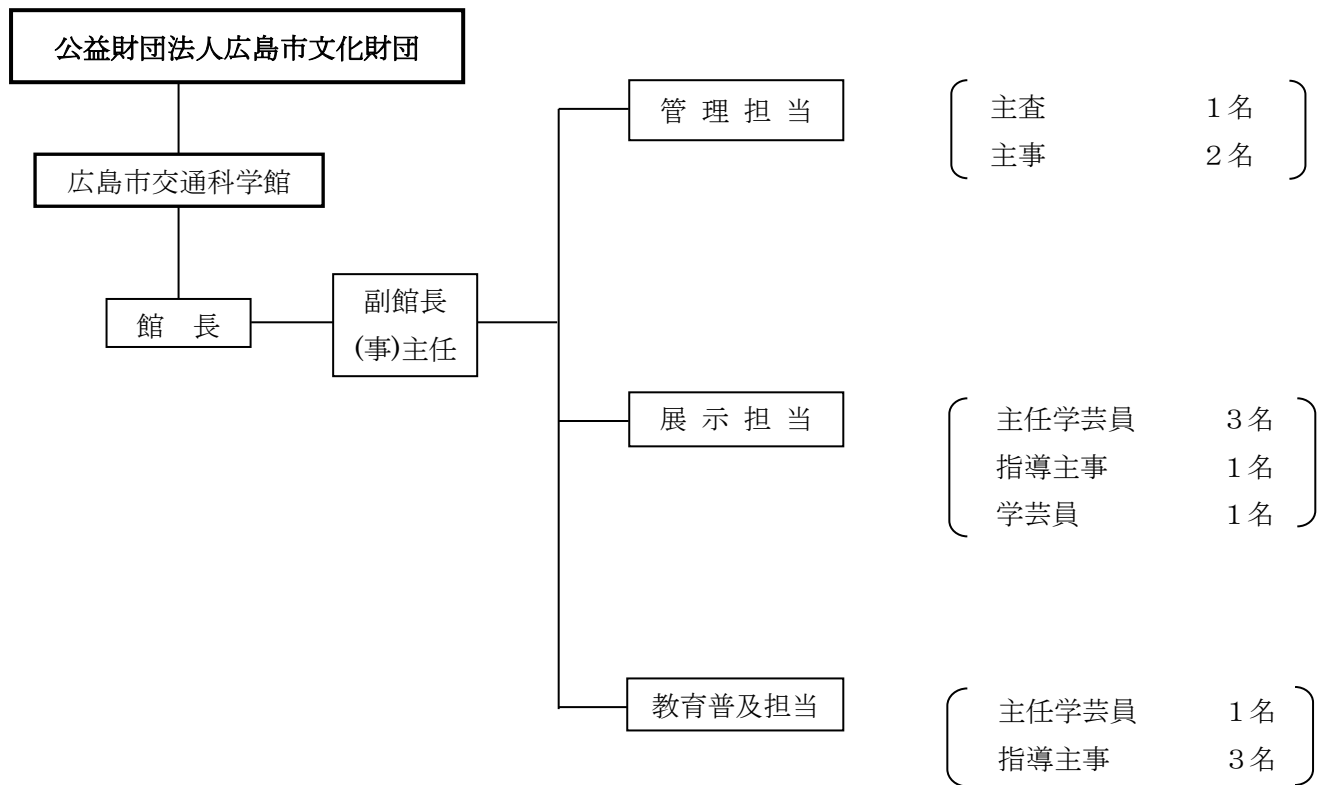


組織及び職員数

令和4年4月1日現在



計14名

1. 展示事業

●令和4年度 展示事業 実績報告

I 常設展示

(1) 世界の乗り物

当館では、航空機・船舶・鉄道・自動車の各分野における技術の発達を伝える乗り物模型2,000点以上を所蔵しており、その一部を分野別に展示しています。これら乗り物にかかわる情報は、当館独自の乗り物模型データベース「ハイパーブックWEB」で調べることができるようになっています。

(2) ハイパーブック

乗り物の発達に関する物語や、それぞれの乗り物の特徴などの情報について、ビークル博士の案内で絵本を読むように楽しく、また百科事典をひもとくように詳しく調べることができます。令和3年3月からは、館内各所に設置された端末はもちろん、スマホやタブレットからも利用できる「ハイパーブックWEB」に進化しました。

(3) シティランナー

正面の画面に現れる街（ビークルシティ）に入り込み、自転車で散策するように、また電車を運転するような感覚でその中を仮想移動体験できます。

(4) エポックシーン

ライト兄弟が初めて動力飛行した日の感動的なシーンやベンツの三輪車が走行する様子など、乗り物に関連した歴史的な4場面をミニジオラマでドラマティックに表現しています。カプセルの窓から中をのぞき込むような形で、各乗り物の名場面を見ることができます。

(5) ビークルシティ

日本最大級・直径20mの巨大な交通パノラマ模型です。「空港」「オフィス」「文化・アミューズメント」「住居・学校」「シティリゾート」「生産・物流」の6つのエリアと、これらをむすぶ乗り物・交通のシステムを模型で構成しています。音楽や照明を使って、いきいきとした活気あふれるビークルシティの朝・昼・夜の一日を表現しており、人々の暮らしと乗り物が毎日の生活の中でどのように関わっているかを見ることができます。

(6) シティガイド

巨大交通パノラマ「ビークルシティ」で使われている乗り物や交通の仕組みやシステムを、エリアごとに情報検索できる情報端末装置です。

(7) ビューカプセル

ビークルシティを見下ろすように設置された青・緑・赤・黄の4色の特殊映像カプセルで、青・緑色のカプセル内では、映像と音響によりビークルシティの中で繰り広げられるさまざまな物語をダイナミックなコンピュータ映像で体験できます。また赤・黄色のカプセルでは、ビークル博士のおもしろくてためになる乗り物のお話を視聴することができます。

II 企画展示など

(1) 春季企画展「それいけ！レスキュー隊」（令和3年度からの継続事業）

ア 期 間：令和4年4月1日（金）～5月8日（日）（うち開館日34日）

イ 開催場所：2階 特別展示室他

ウ 観覧者数：16,290人（入館者総数）

エ 展示内容：平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨をはじめ、全国各地で大規模な自然災害の頻度が高まり、これに比例して災害救助活動の重要性と関心が高まっています。本展では、災害救助活動の最前線で活動する各機関と資機材等を、実車や模型、実験装置などを交えて紹介しました。

【主な展示品】

実物資料：広島市消防局 ミニ消防車ありんこ1号・ありんこ2号・救助服一式防火衣一式

海上保安庁 ウェットスーツ一式、サポートマーケティングサービス 水陸両用車ARGO など

模 型：消防ヘリコプター ひろしま、巡視船 たかつき、モリタ スーパージャイロラダー など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
自衛隊の車がやってくる！（1日2回）	2	659	屋外広場
陸上自衛隊第13音楽隊ミニコンサート（1日2回）	2	462	1階 エントランスホール
ピークシアター「ザ・緊急自動車」（1日3回）	9	381	1階 多目的ホール
ちびっこ教室「がんばれ！レスキュー隊」（1日3回）	9	296	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室「レスキュー隊すごろくゲーム」（1日3回）	9	183	〃



(2) 夏季企画展「ル・マンを駆けた737C・787B」

ア 期 間：令和4年7月15日（金）～9月4日（日）（うち開館日43日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：20,485人（入館者総数）

エ 展示内容：マツダが日本勢初のル・マン24時間レース総合優勝から30年を経たことを記念して、総合優勝を果たした787B（同型車）と、近年レストアが行われた737Cを展示し、20余年にわたるマツダのル・マン挑戦のあゆみを紹介しました。またスポット展示として、22歳と異例の若さでF2ドライバーになりながらレース中の事故で早逝した広島出身の高橋徹氏を、その乗車車両や遺品とともに展示・紹介しました。

【主な展示品】

マツダ 787B（202号車）、マツダ 737C（85号車）、レース用13Bロータリーエンジン、
 マーチ 832/BMWモノコック・エンジン（高橋徹乗車車両）、マツダ ファミリア（元 高橋徹所有車）、
 ヘルメット・レーシングスーツ・トロフィー・盾など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
737C リアカウル開放	2	359	2階 特別展示室
片山右京氏トークショー	1	74	1階 多目的ホール
ちびっこ教室「ペーパースーパーカー」（1日3回）	3	145	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室「ル・マン紙コップカー」（1日3回）	6	259	〃
ちびっこ教室「ル・マンカーを作ろう！」（1日3回）	3	156	〃



(3) 秋季企画展「広島の貨物鉄道 セノハチをゆく」

ア 期 間：令和4年10月14日（金）～12月4日（日）（うち開館日45日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：17,310人（入館者総数）

エ 展示内容：日本の鉄道開業150周年を記念し、国内屈指の鉄道の難所として知られる「セノハチ」（山陽本線瀬野駅・八本松駅間）と、広島を中心とした貨物鉄道等の歴史や役割などを紹介しました。

【主な展示品】

EF58形電気機関車マスターコントローラー、EF67形電気機関車ヘッドマーク、国鉄の制服・帽子
山陽鉄道株式会社荷物運送規則、EF59形電気機関車車歴簿、瀬野機関区各種写真や映像 など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
ギャラリートーク	4	191	2階 特別展示室
JR貨物デー（JR貨物協力による普及イベント）	1	1151	1階 旧レストラン他
ちびっこ教室 「セノハチの機関車」（1日3回）	6	307	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室 「みんなの新幹線」（1日3回）	6	322	〃
ちびっこ教室 「セノハチのプラバンプレート」（1日3回）	6	295	〃
ちびっこ教室 「ストロー踏切」（1日3回）	6	229	〃



(4) 春季企画展「月につきすすめ！」（5年度への継続事業）

ア 期 間：令和5年3月3日(金)～3月31日(金)（うち開館日24日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：10,939人（入館者総数）

エ 展示内容：アポロ計画終了から半世紀、再び月面への有人着陸を目標としたアルテミス計画が進行するなど、世間での月や宇宙開発への関心が高まりつつあります。本展では、ロケットや月面探査車、宇宙服など宇宙で活躍する乗り物や機材を展示・解説するとともに、アポロ計画など月探査の歴史と将来を紹介しました。

【主な展示品】

アポロ月面活動服（レプリカ）、EMU宇宙服（レプリカ）、未来型月面活動服（レプリカ）

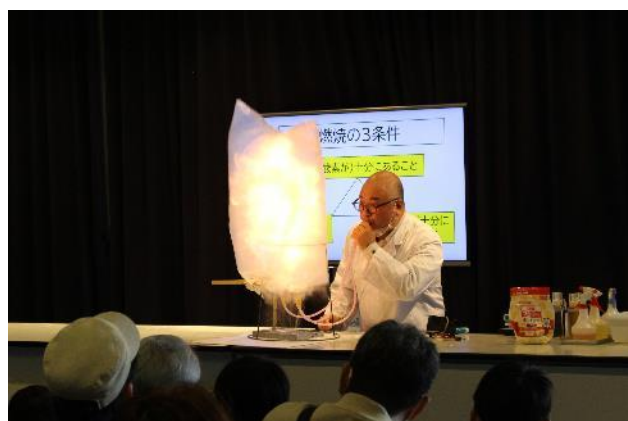
サターンVロケット（1/144）、N-1ロケット（1/144）、アポロ宇宙船（1/50）、クルードラゴン（1/48）

SLS（1/144）、未来型月面車（1/3） など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
あそびのひろば 「ラジコンホイールローバーを操縦しよう！」（1日2回）	4	318	1階 多目的ホール
サイエンスショー 「テンプク博士のバクハツショー」（1日3回）	6	452	〃
ロボットローバー操縦体験（1日2回）	2	176	1階 旧レストラン
ちびっこ教室「ビー玉UFO」（1日3回）	3	135	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室「光るUFOアクセサリ」（1日3回）	3	142	〃
ちびっこ教室「ふわっとUFO」（1日3回）	3	82	〃



(5) ビークルギャラリー

①「安佐南区防災ネットワーク事業パネル展示」

- ア 期 間：令和4年8月24日(水)
～9月4日(日) (うち開館日11日)
- イ 開催場所：1階 エントランスホール
- ウ 観覧者数：2,411人 (入館者総数)
- エ 展示内容：土砂・豪雨災害の様子や防災に関する情報をパネルで紹介し、あわせて防災用品を展示しました。



②「ようこそ！乗り物お名前博物館」

- ア 期 間：令和4年12月23日(金)
～令和5年2月12日(日)
(うち開館日39日)
- イ 開催場所：2階 特別展示室ほか
- ウ 観覧者数：13,110人 (入館者総数)
- エ 展示内容：乗り物につけられた様々な名前や愛称を、元になった自然や生き物の写真と、收藏する乗り物模型を組み合わせて紹介しました。



Ⅲ その他

被爆電車車内公開

- ア 時 期：毎月第3土曜日など (1日2回)
計15日 (30回)
- イ 開催場所：屋外広場
- ウ 参加者数：3,831人
- エ 実施内容：被爆しながらも戦後も長く活躍した広島電鉄650形路面電車(654号)の車内を一般公開しました。



2. 教育普及事業

●令和4年度 教育普及事業 実績報告

交通科学館では、乗り物や交通に対する興味・関心を喚起し、知的好奇心を満たしていく事業として、工作教室やサイエンスショー、ビデオ上映会などを実施してきました。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いてきたこともあり、運営方法等に十分配慮しながら参加条件等を緩和し、市民の参加機会をできる限り確保できるよう事業を実施しました。

(1) 教室事業

ア ちびっこ教室 ●実施日数 61日(183回) 参加者数 7,517人

こども連れが多い日曜日や祝日に、幼児から小学校1・2年生児童を対象として実施している入門編の工作教室です。「色を塗る」「はさみを使う」といった工作の基本を重視するとともに、作る楽しさや工作物を完成させる面白さを経験できるような内容で運営しています。



イ ちびっこ教室プレミアム ●実施日数 2日(6回) 参加者数 250人



ちびっこ教室の「気軽に参加できる」「保護者と一緒に作り上げる」といった良さを保ちつつ、クリスマスにちなんでプレゼントなどにも使える「スノードーム(びん詰め液体の中を、きらきらしたラメが漂う室内装飾品)」づくりをしました。少し贅沢な材料を使い、少し難しい内容ですが、参加者の満足度も高く、毎年大変好評を博しています。

ウ 小学生工作教室 ●実施日数 23日(28回) 参加者数 682人

小学生を対象にした「動くもの」を作る工作教室です。教員経験者や元技術者など工作経験豊富な講師を招き、モーターや磁石、ペットボトル・牛乳パックといった身近な素材を上手に使用した工作を実施しました。



エ 大人の工作教室 ●実施日数 3日(3回) 参加者数 33人

大人を対象とした工作教室で、こども向けのおもちゃの製作など、木工を中心に開催しました。



オ 乗り物テクノ教室 ●実施日数 3日(3回) 参加者数 28人

小学校5・6年生から中学生を対象として、乗り物の工作だけでなく、その仕組みや原理なども合わせて専門家から学ぶ教室を開催しました。



(2) 工作教室以外の事業

ア ビークルシアター ●実施日数 22日(68回) 参加者数 2,318人

こども向けを中心に、主に新幹線やはたらく車など、乗り物や交通に関するDVDを上映しました。また、本年度は大人向けに古い鉄道記録映画を上映するなど、参加者層の拡大に努めました。



イ サイエンスショー

●実施日数 23日(69回) 参加者数 3,039人

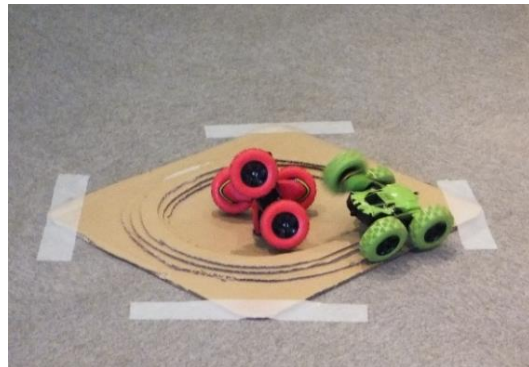
乗り物の動く仕組みや原理を楽しく・わかりやすく解説し、科学を身近なものと感じてもらえる科学実験ショーを実施しました。



ウ あそびのひろば ラジコン体験

●実施日数 10日(20回) 参加者数 1,493人

こどもがラジコンを自由に操作することを通して、運転操作や工作などに興味を持てるような事業を開催しました。



エ ビークルお楽しみステージ

●実施日数 5日(8回) 参加者数 714人

消防音楽隊の演奏会やバルーンショー、地元ヒーローショーなどを企画・実施し、交通安全をはじめ、防火・防犯などの啓発を行いました。



オ 乗り物セミナー

●実施日数 3日(3回) 参加者数 102人

こども向けのアストラムライン教室をはじめ、未来のモビリティに関する講演会、マイカー一点検教室を、それぞれ専門家や研究者などの第一人者を招聘して実施しました。



カ みんなであそぼう! ピークルパーク

●実施日数 4日 参加者数 1,231人

夏休み直後や2月の閑散期に工作教室の作品を大型化したものや簡単なゲームなどを通して、ものづくりや乗り物に対して興味・関心を高める催事を開催しました。



キ ウインターフェスティバル・春まつり

●実施日数 6日 参加者数 1,966人

正月明けと開館記念日のある3月中旬に、ステージのほかショップで販売しているクラフトキットを使用した工作教室などを集中的に実施し、集客に努めました。



ク 外部連携事業 ●実施日数 7日 (14回) 参加者数 1,698人

広島市(道路交通局)やマツダ株式会社の技術部門との共催で交通安全に関する最先端の技術を体験しながら学べる「交通安全チャレンジフェスタ」を開催したほか、JAF(日本自動車連盟)との共催で交通安全と関連させた「子ども安全免許証交付」や「ドライバーズビジョン(反射神経測定ゲーム)」、広島ガスとの共催による「サイエンスショー」など積極的に外部と連携し、普段できない体験を提供しました。



ケ 学校団体受け入れ事業 ●利用校数 21校 利用者数 1,274人

社会見学や修学旅行など校外学習で来館した学校団体を対象に、工作教室やサイエンスショー、被爆電車の車内公開、平和学習用ビデオの上映などを実施しました。



コ 講師派遣 ●派遣回数 8回 ※参加者数 333人

公共施設等が開催する講演会・工作教室にそれぞれのテーマを得意とする館職員を講師として派遣しました。

サ ライブラリー運営 ●利用者数 15,510人

乗り物や交通に関する書籍や雑誌の閲覧および複写サービスを行っています。また、近年の状況を踏まえ、ビデオブースで使用する映像媒体をVHSテープからDVDに変更しました。



公益財団法人広島市文化財団ベンチマークス(広島市交通科学館)

令和4年度

使命 (ミッションステートメント)		乗り物と交通の楽しさを伝え、夢を育む総合的な博物館			
		存在意義	<ul style="list-style-type: none"> 多様化、高度化するニーズに応える学習の場 人文系、自然系の分野を超えた総合的な博物館 		
		基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 人類の英知の結晶としての「乗り物と交通を総合的に展示する博物館」 博物館も教育現場であると位置付けた「学校教育と連携する博物館」 広島の乗り物と交通の資源を取り込んだ「地域を生かす博物館」 市民参加を中心とした「体験する博物館」 見て・聞いて・触れて来館者の「夢を育む博物館」 市民の学習意欲に貢献する「頼れる博物館」 		
		事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 〇より広く・より深く 乗り物と交通を多面的にとらえた展示、多彩な展示手法 館内にとどまらず現地に赴く事業 市民が主体的に活動する場の提供 ハンズ・オンやマルチメディア等の手法を用い、知る喜びに目覚め、夢を育む SDGsを念頭に、その普及啓発に努める 		
事業領域	領域目標	事業	事業目標	目指す成果(業績指標)	目標値→実績値
経営管理	設置目的の達成	事業全体	乗り物と交通に関する市民の興味と関心を高め、理解を深める場を提供する	乗り物と交通への理解・関心が高まったと思う利用者の割合 年間総来館者数(カウンター数値)	80%以上→75.9% 146,300人以上→111,294人(達成率76.1%)
	温かくもてなす心構えと洗練された手法・知識に基づいた的確かつ臨機応変な来館者対応	ユニバーサルデザイン、接客・接遇	館内環境、来館者対応の充実	館の印象がよかったと思う利用者の割合	80%以上→90.8%
展示	市民の乗り物と交通に関する関心度を高める。(乗り物・交通に対して夢を育む)	常設展示	人文系・自然系の分野を超え、親子で楽しめる「総合的な博物館」をめざす	常設展示がよかったと思う利用者の割合	80%以上→78.7%
		展示・収蔵資料の維持管理		「調整中」の常設展示数(同時最大値)	3件以下→2件
		企画展示		企画展示がよかったと思う利用者の割合	80%以上→97.1%
普及啓発	市民への情報提供や学習機会を提供する	講座・教室事業	ニーズを迅速に反映した事業の提供	内容に満足した参加者の割合	80%以上→98.3%
				リピーター率	50%程度→42.0%
調査研究	あらゆる市民のニーズに対応できる情報を蓄積する	資料整理事業	乗り物と交通に関する資料収集とデータベース化	乗り物模型収集展示点数	5点以上→6点
		調査研究事業	乗り物と交通に関する調査研究と成果の還元	館外調査実施件数	5件以上→11件
				レファレンスに対して有効な回答ができた件数	5件以上→5件
専門職員の学会発表・講演会講師等の回数	3回以上→8回				
連携 学習支援	学校教育や他の施設・団体等と連携して、事業内容や利用者の多様化を図る	学校教育との連携	学校教育との融合	年間来館学校数	50校以上→50校
				事業プログラム等が学習の参考になったとする割合	80%以上→76.9%
		地域活動等との連携	地域内で行われる行事等への積極的な参加	支援・連携した事業数	2件以上→7件
				事業内容に満足した参加者の割合	80%以上→97.5%
		情報発信事業	HP等の効果的運用と、的確な広報の実施	ホームページアクセス件数	72,000件以上→94,190件
				ホームページの更新回数	30件以上→170件
TV・新聞・ラジオ・雑誌・web記事等で取り上げられた件数	10件以上→14件				
市民活動 支援・協働	ボランティア活動の場の提供	ボランティア事業	ボランティアの養成と組織の拡充	ボランティア登録者数	30人以上→22人
				活動を通して社会に貢献できたと感じたボランティアの割合	80%以上→81.8%
収益	交通科学館の魅力・楽しさを商品群の陳列販売を通して演出	ミュージアムショップ事業	「ミュージアムの持ちかえり、知的ステップアップショップ」となる	ショップ利用者の商品の質・接客態度等が良いと思う人の割合	80%以上→68.4%